

12 英作文の攻略法①

— 形式と解答の注意点 —

大問④

英検準1級の大問4は英作文問題です。形式は与えられた TOPIC について自分の意見とその理由を書く問題です。右ページの練習問題のような形式で出題されます。

ルールをしっかりと理解しよう!



●問題の形式と傾向

問題は **Agree or disagree:** ~ の形か, **Do you think ~ should [need to] ...?** の形で TOPIC が示され, それについて賛成か反対かを問う形式です。TOPIC の内容は, 政治, 経済, モラル, 環境, 教育, 医療などに関する時事・社会的なものが多いです。例えば「女性の社会参加」, 「e-commerce」, 「失業問題」, 「親との同居」などが出題されています。

問題では英作文に含めるべき POINTS (=キーワード) が4つ示され, そのうち2つを使うことが求められます。

語数の目安は120 ~ 150語で, 2級の指定語数の80 ~ 100語と比べるとかなり語数が増えます。構成にも指示があり, introduction (導入) → main body (本論) → conclusion (結論) という展開で作文することが求められます。

2級と同様に, 採点は「内容」, 「構成」, 「語彙」, 「文法」の4つの観点から行われます。

●解答する際のポイント

TOPICを理解して的外れにならないように!



[1] 求められている内容をしっかりと把握する

英作文の内容が的を射ていることが何よりも大切です。TOPIC を理解し, さらに POINTS についてはそれぞれどのような理由に使えるかを考えましょう。当然それなりの語彙量が求められます。日頃から英字新聞に目を通すなど, 時事的なテーマや語句に親しんでおくと, 着想や作文の際にとっても役に立ちます。

[2] 指示された構成を守る

「自分の意見→理由→結論」の流れね!



準1級にレベルが上がっても, 2級までと基本的な解答の構成は変わりません。

- (1) Introduction : 自論をはっきり述べる。
- (2) Main body : 選んだ POINTS に関連させながら, 2つの理由を述べる。
- (3) Conclusion : Main body で述べた内容を受けて, Introduction の自論を再提示して結論づける。

という構成で作文しましょう。

できるだけ表現にバリエーションを持たせよう!



[3] 適切な語彙と文構造を用いる

できる限りミス避けることはもちろん, 言い換えや接続詞, 関係代名詞などを適宜使って表現にバリエーションを持たせることも忘れないようにしましょう。日本語(ローマ字表記を含む)を書くことは減点の対象となります。やむなく行った場合には直後に英語で説明を加えましょう。また, ディスコースマーカーを積極的に使って, まとまりのある読みやすい文章を書くように心がけましょう。

